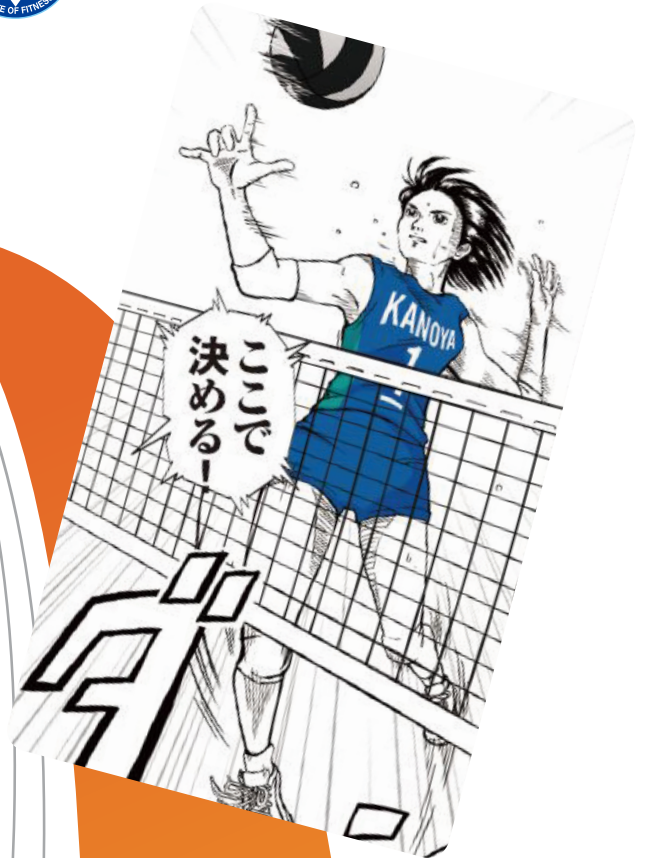


令和 2 年度

# 競技成績報告書

鹿屋体育大学


National Institute of Fitness and Sports in KANOYA





## 目次

1. はじめに	2
2. 冠スポーツ奨学金支援企業の紹介	3
3. 令和2年度競技成績一覧	4
4. 競技成績を収めた団体紹介	
陸上競技部	6
男子バレーボール部	8
女子バレーボール部	10
体操競技部	12
ヨット部	16
カヌー部	19
5. 令和2年度重点強化指定選手・チームにおける担当委員	23



# はじめに

国立大学法人 鹿屋体育大学長  
松下 雅雄

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、例年皆様を招待し、開催していただきました競技成績報告会を令和2年度は中止としました。代わりに、本パンフレットにて本学学生の活躍をご確認いただければと思います。

コロナ禍という厳しい環境の下での活動となり、多くの団体が満足のいく練習ができなかったかと思えます。そのような環境下でも本学学生の活躍は、大変素晴らしいものがありました。

主な成績を紹介いたしますと、国内大会において陸上競技部、男女バレーボール、体操競技部、ヨット部、カヌー部がそれぞれ優秀な成績を残しました。

このような成績を取めることができましたのは、学生や指導者の努力もさることながら、日頃より多大なご支援を賜っております皆様のお力添えのおかげと深く感謝し、お礼申し上げます。

さて、昨年延期となりました「東京オリンピック大会」が今年7月より開催の予定となっております。

本学卒業生からカヌー、自転車競技、水泳への出場が既に内定しております。また、出場を目指して努力を続けている学生もおります。鹿屋出身の選手たちに暖かい応援をお願いします。

そして、来年は報告会を開催し、皆様に素晴らしい報告ができることを期待しております。

最後に、皆様におかれましては、今後も引き続き、鹿屋体育大学に変わらぬご支援を賜りたいと存じます。



医療法人 秋津会 徳田脳神経外科病院

おおうら皮ふ科

カイコー 株式会社

株式会社 鹿児島銀行

株式会社 かのや寿自動車学校

株式会社 きたやま

旭信興産 株式会社

小鹿酒造 株式会社

有限会社 寿スポーツ

サツマガス工業 株式会社

株式会社 新生社印刷

医療法人 青仁会 池田病院

大海酒造 株式会社

有限会社 風呂井会計

株式会社 丸屋

公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

株式会社 ミズホ商会

株式会社 三井



# 令和2年度 競技成績報告会 成績一覧

団体名	大会名	種目	No.	氏名	成績	大会規模	基準
陸上競技部	第104回日本陸上競技選手権大会	女子 走幅跳	1	山本 渚	2位	全日本	3
	天皇賜盃第89回 日本学生陸上競技対校選手権大会	男子 1500m	2	小林 青	1位	全日本学生	4
		女子 5000m	3	中島 紗弥	1位		
		女子 走幅跳	4	山本 渚	1位		
男子バレーボール部	第32回全日本ビーチバレーボール 大学男女選手権大会	男子 団体	5	山下 将人	2位	全日本学生	4
6	八木 渉太						
女子バレーボール部	第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール 大学女子選手権大会	女子 団体	7	金本 彩花	1位	全日本学生	4
			8	田部 咲来			
			9	山岡 瑞希			
			10	有村 涼美			
			11	吉田 萌子			
			12	諸石 真衣			
			13	東 美 奈			
			14	中島 咲愛			
			15	東上 床 優			
			16	横山 真奈			
			17	大漣 さくら			
			18	松元 幸乃			
			19	諏訪 免望			
			20	大工園 彩夏			
21	大久保 真美						
22	楠 夕 莉 乃						
23	嘉 陽 孝 聖						
24	服部 芽衣						
体操競技部	第74回全日本体操種目別選手権	男子 あん馬	25	市口 大和	1位	全日本	3
	第74回全日本学生体操競技選手権大会	男子 団体	26	上田 直樹	2位	全日本学生	4
			27	杉野 正 堯			
			28	藤巻 竣平			
			29	上山 廉太郎			
			30	長谷川 毅			
	31	金田 希一					
第74回全日本学生体操競技選手権大会	男子 種目別 鉄棒	32	杉野 正 堯	1位	全日本学生	4	

団体名	大会名	種目	No.	氏名	成績	大会規模	基準
ヨット部	第 85 回全日本学生ヨット選手権大会	国際スナイプ級 クラス別団体総合	33	岩下メナード	3 位	全日本学生	4
			34	真 鍋 優			
			35	牛島信太郎			
			36	北 林 風 花			
			37	深 田 光			
			38	山口篤郎			
カヌー部	令和 2 年度 SUBARU 日本カヌースプリント選手権大会	男子 C-1 200m	39	田中智貴	3 位	全日本	3
			男子 C-2 200m	40	田中智貴		
		41		岩永紘明			
		男子 C-2 500m	42	岩永紘明	1 位		
			43	原田雅功			
			44	横山瑞紀	2 位		
		45	岩 男 凌				
		男子 C-2 1000m	46	池口黎於	3 位		
			47	原田雅功			
		男子 K-2 200m	48	安藤久騎	2 位		
			49	内田 海斗			
		女子 WK-2 200m	50	溝口朋美	3 位		
			51	高野真緒			
		女子 WK-2 500m	52	林 田 薫	3 位		
	53		高野真緒				
第 56 回全日本学生カヌースプリント 選手権大会	男子 C-2 200m	54	田中智貴	1 位	全日本学生	4	
		55	岩永紘明				
	男子 K-1 200m	56	橋 沼 新	1 位			

競技成績報告会 招待選手基準(鹿屋体育大学学生に係る競技成績報告会実施基準より抜粋)

基準 1：世界的規模の大会(オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ及びユニバーシアード競技大会)等に日本代表として出場した者

基準 2：前項を除くアジア規模以上の国際大会において第 8 位までに入賞した者

基準 3：全日本選手権大会において第 8 位以内の成績を挙げた団体又は第 3 位以内の成績を挙げた個人(ペア)

基準 4：全日本学生選手権大会において第 3 位以内の成績を挙げた団体又は第 1 位の成績を挙げた個人(ペア)

基準 5：その他前各号に掲げる基準と同等以上と認められる成績を挙げた者

基準 6：日本記録又は日本学生記録を更新した者



## 陸上競技部(中長距離ブロック)



監督 マツ ムラ イサオ  
松村 勲

新型コロナウイルスの影響で、様々な制限があり、とても難しい期間であったのは、多くのアスリートと同じ状況だったと思います。ただ、陸上競技部では独自に新型コロナウイルス感染症予防対策を布いて、多くの部員がそれを遵守した結果、大きな停滞はなく活動を進められたことが、今年度の競技成績(成果)にとっては大きな要素だと思います。また、中長距離においては、その期間を有意義なものにするために、自炊の内容を争う「J-1 グランプリ(※JはJisuiのJ)」なるイベントを開き、新型コロナウイルス感染予防(外食抑制)とともに、競技力向上に一助と、期間中の楽しみを作りました。



スポーツ総合課程3年  
コバヤシ アオイ  
小林 青



### 天皇賜杯第89回 日本学生陸上競技対校選手権大会 男子 1500m **1位**



前回の日本インカレが2位だったため今年は優勝を目標に臨んでいたのですが目標が達成できとても嬉しかったです。コロナウイルスの影響により思うような練習ができていませんでしたが、限られた時間や場所でやれることをしっかりとやるということを徹底した結果、集中力が増し大会での力発揮に繋がったと思っております。来年度は日本インカレ連覇と日本選手権優勝を目標にし日本記録にも挑戦していけるよう頑張ります。



スポーツ総合課程3年  
ナカジマ サユミ  
中島 紗弥



### 天皇賜杯第89回 日本学生陸上競技対校選手権大会 女子 5000m **1位**



今回2度目の全日本インカレに出場し、初優勝することができました。今年度は3位入賞を目標としていたので、自分でも驚きとても嬉しかったです。今年は新型コロナウイルスが流行し様々な大会がなくなりました。全日本インカレも開催できるか決まらない中で練習を行っていたため、モチベーションを上げて練習をしていくことが難しかったです。しかし周りの人に支えられて今回の結果を残すことができました。来年度は最後の全日本インカレとなるので、2連覇できるよう頑張っていきたいと思います。





## 陸上競技部 (跳躍・混成ブロック)



監督 コ モリ ダイ スケ 小森 大輔

2020年度における該当選手の結果は、日本インカレで優勝、日本選手権で2位でした。該当選手はこれまで全国レベルの試合で優勝経験はありませんでしたが、9月に開催された日本インカレでは、向い風で試技が少ない状況にも関わらず、自分の力を発揮して初優勝しました。その後に行われた日本選手権においても勢いは衰えることなく、一時はトップに躍り出たのですが、逆転され惜しくも2位でした。

2020年度は新型コロナウイルスの影響で、陸上競技は6月末まで試合が中止となりました。当初は7月から試合が解禁されることでしたが、正直なところ、7月になると本当に試合は行えるのか不安もありました。通常のシーズンであれば、4月・5月に試合を消化して、6月にピークが来るように計画を立てます。7月に必ず試合ができることを信じて、当初予定されていた試合日程に合わせて、学内で試合形式の練習を数回行うことでいつ試合が始まっても対応できる心身の準備を整えていました。このように取組んだ結果、7月の県選手権において大幅に自己新記録を伸ばし(6.31m、日本ランキング2020で2位)、順調な滑り出しとなりました。

今後は、実業団選手として競技を継続する予定です。まずは日本選手権で優勝し、日本から世界へ飛び立ってほしいと思います。そして、2024年のパリオリンピックで活躍できることを期待しています。



スポーツ総合課程4年  
ヤマモト シズカ 山本 渚



成績!

### 第104回日本陸上競技選手権大会

女子 走幅跳 **2位**

### 天皇賜杯第89回日本学生陸上競技対校選手権大会

女子 走幅跳 **1位**



9月に行われた日本インカレでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年より少ない本数で予選・決勝が行われました。記録は6.17mで狙っていたものより低くなってしまいましたが、目標としていた優勝をすることができました。大学生活最後の1年に、学生として納得のいく結果を残すことができよかったです。

10月に行われた日本選手権では、向かい風と雨が降る悪条件の中、助走を合わせる事が難しく最初は記録を伸ばすことができませんでした。4回目終了時点で6.25mを記録して1位でしたが、5回目に逆転され、目標としていた優勝には届かず、2位でした。しかし、4年間取り組んできたことを十分に発揮することができたと思います。

今大会での反省や経験を活かし、今年こそは優勝します。今後は実業団の大会でも優勝することができるよう、より一層競技に打ち込んでいきたいです。







## 男子バレーボール部



成績!

第32回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会  
男子 団体 **2位**



監督 ハマダ コウジ  
濱田 幸二

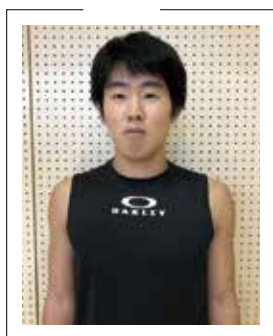
今年はコロナウイルスの影響があり、バレーボールの試合がほとんど中止になったが、外で行うビーチバレーの全国大会は実施された。しかしながら全国からたくさんの方が集まることでコロナウイルスが拡大するのではないかという懸念があったため、本学出場選手は日頃の体調管理の徹底を行い、練習の成果を発揮すべく大会に臨んだ。大会開催にあたっての様々な人の支えには感謝しきれない。この感謝の気持ちを忘れず学生には今後も精進させていきたい。



スポーツ総合課程3年

ヤマ シタ マサト  
山下 将人

ビーチバレーは身長が高ければ有利に働くスポーツと言われています。しかし、私の身長は167cmで、ビーチバレーをする上で比較的低い方です。190cm程の選手がいる中、私はどのように戦っていかなければならないのかを考えた結果、ボールを落とさないようにレシーブを頑張ることで決勝戦まで上り詰めました。決勝戦では、悔しい結果になりましたが、自分の持ち味を存分に発揮したことに楽しさを感じました。



スポーツ総合課程1年

ヤギ ショウタ  
八木 渉太

私の持ち味は、相手の動きを見たコントロールショットです。相手と駆け引きをして、空いているところにショットが打てたときはすごく気持ちが良いです。コントロールショットだけでなく、たまに強いスパイクを打つことで相手へプレッシャーをかけます。大会当日は風が強く、プレーにかなり影響が出ましたが、持ち味が出せたことで準優勝という結果がついてきたのだと思います。この経験を生かして、来年度は優勝を目指して頑張っていきます。





表彰状をもって記念撮影



# 女子バレーボール部



成績!

第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

女子 団体 **1位**



監督 ハマダ コウジ 濱田 幸二

まず初めに大会開催に御尽力くださった多くの関係者の方々に心より感謝申し上げます。コロナ禍の影響により本学も練習制限の中、どの部分にフォーカスを当て効率良く練習を行うか試行錯誤の毎日でした。そこで、前年度インカレのベスト4以上の分析をもとに、自分たちがどのレベルまで技術力を高めていくかを比較しながら紅白戦を重ねました。またチーム作りにおいて学生が掲げた「団結・貪欲」というテーマを徹底させようと、4年生金本主将を中心にコンビバレーを目指しミーティング等で日々研鑽してきました。優勝した瞬間はただただ試合が出来る喜びが大きく、この舞台を準備して頂いた方々への「感謝」の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



スポーツ総合課程4年

主将 カナモト アヤカ 金本 彩花

全日本インカレでは、1年間目標としていた日本一を掴み取ることができました。コロナ禍という状況ではありましたが、私たちがこのような成績が残せたのは、大会関係者をはじめ沢山の方々の御支援、御協力があったからこそ結果だと思えます。感謝申し上げます。全日本インカレ以外の試合は全て中止や延期になり、チームの士気が落ちていた時期もありました。しかし、テーマである「貪欲・団結」を再確認することでチーム全員が練習に意欲的に取り組むことができました。大会期間中の戦術ミーティングや試合中でもレギュラーを中心に選手主体の話し合いが普段より出来ていたと思います。また、今年のチームの強みである「コンビバレー・粘り」を試合で発揮することができました。特に印象的だったのは、バックアタックです。レシーブが乱れてもスパイクに繋げ、最後は相手コートに叩き込み、どこからでも攻撃態勢に挑むなど、練習で培ったことがコートで表現できていたと実感しています。最後に、今回の結果を通過点とし、来年度も後輩達に日本一を掴み取ってほしいと思います。





決勝前に円陣を組む様子



得点を決め、喜ぶ様子



主将の金本がスパイクを打つ様子



## 体操競技部



監督 ムラタ ケンリョウ  
村田 憲亮

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け大会の延期及び中止等大きな影響を受けました。部活動停止期間も何度か経験し、学生にとってはモチベーションを高く保つことは非常に困難であったと思います。しかし大会が延期されたことで準備期間が長くなり身体づくりや基本的な動作の見直しに目を向けることができました。これらの経験は私たちにとって非常に効果があり美しく質の高い演技を行うことに繋がりました。またご支援いただきました冠奨学金や10over9報奨金の一部を強化合宿に利用させていただきました。トップレベルのクラブへの遠征によって実践値を積み、全日本学生選手権(インカレ)団体準優勝という過去最高の成果に繋げることができました。部を代表して感謝申し上げます。今後も人々を魅了する演技を目指し、日本のみならず世界で活躍できる学生アスリートの育成を目指して行きたいと思っております。ご声援ありがとうございました。



スポーツ総合課程4年  
イチグチ サマト  
市口 大和

**成績!** 第74回全日本体操種目別選手権  
男子 あん馬 **1位**

全日本種目別選手権は本来6月に開催される予定であったが、新型コロナウイルスの影響で12月になり6月に合わせて練習を行っていたので、延期された時はモチベーションが下がったがその後は準備期間が長くなったと考え、練習に取り組むことができました。

今回優勝することができて自信に繋がったので、東京オリンピック、世界選手権を目標に日々練習に励みたいと思っています。



スポーツ総合課程4年  
スギノ マサヒロ  
杉野 正晃

**成績!** 第74回  
全日本学生体操競技選手権大会  
男子 種目別 鉄棒 **1位**

全日本インカレでは、鉄棒で優勝することができました。新型コロナウイルスの影響で、試合が延期や中止となる中、モチベーションを保ちながら常に自分自身と向き合うことができました。東京オリンピック代表に入るために鉄棒の強化が必要でした。世界でも珍しい手放し技の連続を自身の演技構成に取り入れることができ、高得点を取ることができました。今後はもっと鉄棒に磨きをかけてオリンピック代表の座を勝ち取りたいです。





成績!

## 第74回全日本学生体操競技選手権大会 男子 団体 **2位**



スポーツ総合課程4年  
ウエダ ナオキ  
上田 直樹

体操競技部初のインカレ 2 位のメンバーになれたことがすごく嬉しいと思います。

4 年生でインカレのメンバー入りをして練習をしていく中で、後輩を引っ張り、自分は失敗してはいけないという思いで練習をして、試合に挑めたことが自信に繋がり、いい結果になったと思います。

今昨年のインカレでは、4 年生が 2 人、あとの 4 人が 3 年生以下だったので、試合の緊張感や練習の仕方などを経験できたと思うので、昨年の結果を超えて、鹿屋体育大学体操競技部を優勝に導いてもらいたいと思います。

応援しています。



スポーツ総合課程4年  
スギノ タカアキ  
杉野 正亮

今年度は、鹿屋体育大学体操競技部史上初となる、全日本インカレ団体 2 位という結果を収めることができました。チーム一丸となり、全日本インカレに臨むことができた結果がこのような結果となりました。普段の練習では、部員全員で助け合い、声を掛け合い、日々の練習に取り組むことができ、活気あるチームを作ることができました。来年こそは、優勝を目指して頑張ってください。



スポーツ総合課程3年  
フジマキ シュンペイ  
藤巻 竣平

体操競技部初の団体 2 位という結果に自身がメンバーとして貢献できたことを嬉しく思います。今年度は新型コロナウイルスの影響で沢山の試合が中止になってしまいました。その中でも全日本インカレは無観客ではありましたが無事開催することができ、試合ができる喜びを感じることができました。全日本インカレでは、4 年生の杉野さん、上田さんを中心にミスカバーし合ったりして良いチーム戦ができたと思います。また、今回の結果は、試合に出場したメンバーだけでなく、練習の雰囲気づくりや応援をしてくれたメンバーに選ばれていない他の部員も含めた体操競技部全員で勝ち取った結果だと思います。

来年度は私達の代が中心となってチームをまとめ、さらに良い結果が出せるように頑張ります。





スポーツ総合課程2年  
ウエヤマ レン タ ロウ  
上山 廉太郎

私がインカレまでで苦勞したことはコンディションを整えることです。私の中ではたくさん練習をして少しでもチームに貢献したいと思っていたのですが、身体が追いつかず怪我をしてしまったり、疲れから失敗して怪我をしてしまう事が続いてしまいました。

今年のインカレは素晴らしいチーム戦ができたと思います。誰一人失敗しなかった人はいませんでしたが、チームで支え合う事ができ今回のような結果に結びつきました。ただメンバーだけでなく支えてくれた全ての人を含め良いチーム戦であると感じました。

来年はインカレ団体優勝を1番の目標に頑張っていきたいと思います。



スポーツ総合課程2年  
ハセガワ ツヨシ  
長谷川 毅

今年の全日本インカレでは、初めての団体準優勝を成し遂げることができ本当に嬉しかったです。

今年は新型コロナウイルスの影響で大変な1年でした。思うような練習ができず、調子を落としてしまった時期もありました。しかし、杉野キャプテンの声かけで、チーム、そして体操部全員がインカレ団体優勝という1つの目標を持ち続けながら、練習に励むことができました。それが全員の意識を高め、優勝には届かなかったけれど準優勝という結果へと繋がったのだと思います。

来年こそは、インカレ団体優勝ができるように頑張りたいです。



スポーツ総合課程1年  
カネタ ケイチ  
金田 希一

今回、全日本インカレで団体総合2位という結果を残せて嬉しく思います。1年生で団体のメンバーに選んでいただき、チームで活躍することができてとても光栄です。これは先輩方、先生方の支えや励まし合っただけのもので感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも競技力向上のために日々努力していきたいです。





第74回全日本学生体操競技選手権大会  
男子 団体 **2位**



団体戦出場メンバー（左から杉野、上田、金田、上山、長谷川、藤巻）





## ヨット部



### 第85回全日本学生ヨット選手権大会 国際スナイプ級 クラス別 団体総合 **3位**



監督 エイ ラク ヒロ ミツ  
榮樂 洋光

5年ぶりの全日本インカレ入賞となりました。特に4年生は1年生の頃からレギュラーとして出場していたものの、毎年非常に悔いを感じてしまう大会になっていました。何としても入賞したいという気持ちが、日々の練習にも込められていたように思います。コロナ禍による、大会中止の懸念や、会場地の変更など最後まで不安要素ばかりでしたが、多くの失敗から学んだ経験を糧に、挑んだ戦略は的中、本当に嬉しい入賞となりました。失敗から学び続けた成功体験は財産となるでしょう。一緒に戦った新体制の学生達がまた新しい学びに触れることを楽しみにしています。



スポーツ総合課程4年  
イワ シノ  
岩下 メナード

2015年以降ヨット部では思うように成績が残せず苦しい時期が続いていました。学生最後で成績が残せ、集大成になりました。コロナ禍での大会では、運営の方々、保護者の皆様、多くの支援を受けました。感謝致します。後輩達が更なる結果を求め研鑽できるよう、応援していきたいと思えます。



スポーツ総合課程4年  
マ ナベ ユウ  
真鍋 優

今年の目標は日本一であったが、その目標は達成できなかった。悔しさは残るが、スナイプ級3位の成績を誇りに思います。選手は日々部内で競い合いながら練習してきたことはもちろん、今年の勝因はレースメンバー以外のサポートの活躍に支えられたものでした。チームが一つとなり、入賞に繋がったと思います。



スポーツ総合課程3年  
ウシジマ シン タロウ  
牛島 慎太郎

コロナ禍で大会も少なく練習時間も限られてた1年でした。  
4年生の先輩方がチームを引っ張ってくれそれについていきチームが1つ  
になり大会に望むことができました。其れが結果に繋がったと思います。  
ご指導・ご支援して下さった人たちには感謝の気持ちでいっぱいです。



スポーツ総合課程3年  
キタ バヤン フウ カ  
北林 風花

昨年度の最終成績はインカレ3位という結果で終わることができた。イン  
カレという場において表彰台に立つのは久しぶりであった。昨年度の目標と  
しては「インカレ入賞」であったため目標以上の成績がとれたことにとても  
喜びを感じている。自分は3年という立場でこの1年間は4年生を勝たせる  
というためだけに取り組んできた。練習で苦しいことが多々あったが、仲間  
たちと頑張っ乗り越えることができた。昨年度の苦しみや喜びを忘れずに  
今年度も笑顔で終われるよう最後の1年取り組みたいと思う。



スポーツ総合課程2年  
フカ タ ヒカル  
深田 光

去年はコロナが流行り例年よりも練習時間や大会が少なかったです。しか  
し、私達は少ない練習時間でも効率良く出来たのでインカレ3位に入れたと  
思います。今年もいい順位が取れるように頑張りたいです。



スポーツ総合課程1年  
ヤマ グチ アツ ロウ  
山口 篤郎

練習したくても練習できない、あるはずの大会がないという状況になっ  
てしまったコロナ感染症への対策が今年が一番の苦勞だったと言えます。限ら  
れた練習時間で技術を向上させるのは難しかったです。その中でチームが一  
つになる事を意識して大会に臨みました。全国レベルの大会で船を走らせる  
のは楽しかったです。今回この結果になった以上、さらに上の結果を得られ  
るようにチーム力、技術力、体力を磨いていきます。



第85回全日本学生ヨット選手権大会  
国際スナイプ級 クラス別 団体総合 **3位**

— 2021 —  
ヨット部



競技中の様子  
(左から北林・真鍋、深田・  
牛島、山口・岩下)



トロフィー・賞状をもって記念撮影



## カヌー部



ナカ ムラ ナツ ミ  
監督 中村 夏実

2020年は、世界中どこでも、またどの競技でも、同じ苦労があったと思います。カヌー部もとにかくトレーニング時間が確保できずに苦勞しました。

本来水上トレーニングでベーシックなトレーニングの量を増やしたい時期に、体力水準が追い付いていなかったために、身体の作り直しを一からやり直しました。そして、試合2か月程度で漸く、艇に乗った水上トレーニングを集中して行いました。例年はシングルとペア、200mと500mまたは1000mと、複数種目の強化を図りますが、令和二年度に限っては、得意種目に絞って強化にあたりました。それによって、何とか大きなけがもなく、まずまずの成績を収めることができました。

コロナ禍にあって、我々のスポーツ活動を許容していただき、温かいご声援ならびにご支援いただきました皆様方に、心より御礼申し上げます。



スポーツ総合課程4年  
ハシ ノマ シン  
橋沼 新

成績! 第56回 全日本学生カヌースプリント選手権大会  
男子 C-2 200m 1位

目標としていたインカレ優勝を達成することはできましたが、タイムは満足するものではなく、嬉しい半面悔しい気持ちもあります。また頑張りたいと思います。応援してくれた方々、ありがとうございました。



スポーツ総合課程4年  
ヨコ ヤマ ミズ キ  
横山 瑞紀

成績! 令和2年度 SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
男子 C-2 500m 2位

目標に届かなかった分悔しさの残るレースでしたが、自分たちができる中での最大限の力を発揮できた試合だったと思います。4年生たちの最後の試合を見た後輩たちに、何か良いものを少しでも残せれば、競技生活に後悔はないです。





スポーツ総合課程4年  
ミゾグチ トモミ  
溝口 朋美

令和2年度  
成績! SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
女子 WK-2 200m 3位

新型コロナウイルスの影響で例年通りの練習が出来なかった中でしたが、沢山の方々のサポートや応援のお陰で取れた成績だと思っております。

目標の優勝には届きませんでしたが、ペアの相方にも恵まれ楽しくレースを終えることができました。

今後は、競技とは別の道に進みますが部活動で学んだことを生かし日々努力していきます。



スポーツ総合課程4年  
ハヤシ ダカオル  
林田 薫

令和2年度  
成績! SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
女子 WK-2 500m 3位

コロナ禍ではありますが、大会を開催して頂き、後輩と一緒に出場できたことがなにより嬉しかったです。私達が目標とした結果ではなかったですが、ベストを尽くしました。これから努力し続けたいと思います。



スポーツ総合課程3年  
アンドウ ヒサシ  
安藤 久騎

令和2年度  
成績! SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
男子 K-2 200m 2位

全日本では2位という成績を残すことができたのは嬉しいが、インカレでは良い成績が残せなかった。安定して自分たちの力を発揮できるようにしたい。また、来年度はシングルでも成績を残せるように頑張りたい。





スポーツ総合課程3年  
ウチダ カイト  
内田 海斗

令和2年度  
SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
男子 K-2 200m **2位**

今年度の日本カヌースプリント選手権では、2位の成績を収めることができました。この結果に満足せず、来年に向けてより一層精進してまいります。今後とも変わらぬご声援、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



スポーツ総合課程3年  
イワノ リョウ  
岩男 凌

令和2年度  
SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
男子 C-2 500m **3位**

昨年度はインカレ、全日本で準優勝という成績を収めることができました。この結果に満足せず、今年度は同大会での優勝を目指し、日々の練習に取り組んでいきたいです。



スポーツ総合課程2年  
タナカ トモキ  
田中 智貴

令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
男子 C-1 200m **3位**・男子 C-2 200m **1位**  
第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会  
男子 C-2 200m **1位**

今回、200m で優勝できたことはとても嬉しく思う。これからは200m の2連覇と1000m でも優勝し、チームに貢献できるよう、限られた時間の中での練習を一つ一つ大切にしていきたい。





スポーツ総合課程1年

イワ ナガ コウ メイ  
岩永 紘明

成績!

令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
男子 C-2 200m **1位**・男子 C-2 500m **1位**  
第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会  
男子 C-2 200m **1位**

去年は全日本とインカレという大きな大会で一年から優勝を勝ち取ることができてとても嬉しいです。気を緩めることの無いように後の三年間も優勝を狙っていきます。



スポーツ総合課程1年

ハラ ダ マサ ヒコ  
原田 雅功

成績!

令和2年度  
SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
男子 C-2 500m **1位**・男子 C-2 1000m **3位**

初めての大学の大会で優勝することができてとても嬉しい。自分1人の力では成し得なかった結果であり、仲間の大切さを再認識できた。来年の大会でも全日本だけでなく、インカレでも上位入賞を果たし、チームに貢献したいと思います。



スポーツ総合課程1年

イケ グチ レイ キ  
池口 黎於

成績!

令和2年度  
SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
男子 C-2 1000m **3位**

今年度の大会では、優勝することが出来ました。しかし納得のいく内容ではありません。来年度の大会では個人で結果を残せるように日々のトレーニングに励みたいと思います。





スポーツ総合課程1年

高野 真緒



令和2年度  
SUBARU日本カヌースプリント選手権大会  
女子 WK-2 200m **3位**・女子 WK-2 500m **3位**

- ・林田さんとのペア (WK-2 500m)  
数少ない回数で調節しながら大会に挑み3位を取ることができ良かったです!
- ・溝口さんとのペア (WK-2 200m)  
試合の直前まで話し合いながら試行錯誤して練習した結果、3位が取れたので嬉しかったです!



本学出身の東京2020オリンピック競技大会  
出場内定者



宮田 悠佑  
(カヌー K4-500m 2014年3月卒業)



橋本 英也  
(自転車競技 男子オムニウム 2016年3月卒業)





**高橋 航太郎**

(水泳 4×200m リレー男子 2016年3月卒業)



おわりに

令和2年度競技成績報告パンフレットをお読みいただきありがとうございました。  
コロナ禍という厳しい環境の中でも結果を残した学生たちを誇らしく思います。  
令和3年度もスポーツ業界にとって、難しい環境が続いていくとは思いますが、今後とも本学アスリートたちの後押しをしていただければと思います。

鹿屋体育大学 競技力向上委員長 濱田 幸二

